学校番号	３０２３

令和２年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語	3	第１学年 （文理科）	教科書「CROWN English Communication Ⅰ」 「システム英単語５訂版」，「CROWN English Communication Ⅰ Workbook」，「Mileage Reader 2」，「Listening Essentials 2」「CNN Workbook Extended Course」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は英語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「総合英語」（文理科３単位）、「英語表現」（文理科２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明できる。 ◆日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやりとりすることができる。	コミュ英Ⅰ インタビューテスト スピーチ 英語表現Ⅰ インタビューテスト スピーチ	◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見に感想を、基礎的な語彙を用いて書くことができる。	コミュ英Ⅰ ライティングテスト 定期考査 英語表現Ⅰ ライティングテスト 定期考査	◆趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば、具体的な情報を聞き取ることができる。 ◆ダンスや物の制作など、一連の行動の手順についてゆっくりはっきりと指示されれば、その通り行うことができる。	コミュ英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	◆300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 ◆簡単なマニュアルや手引き書などを理解し、その内容に沿って行動することができる。	コミュ英Ⅰ リーディングテスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson1 (5 時間)	ピクトグラムとは何か、どのように使用され、どのような歴史的変遷を経たかを述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グループ内でプレゼンテーションを行う。	・ワークシートを用いて、ピクトグラムに関するプレゼンテーションを行う。	・「ピクトグラム」の役割について、積極的に話し合ったり、意見の交換をしている。	・机間指導と実際のプレゼンテーションを観察して評価する。
		「英語表現の能力」			
		・ピクトグラムについての説明を読み、その内容について簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、自ら作成したピクトグラムの簡潔な説明文を書く。	・ピクトグラムについての説明を読み、その内容について簡潔に説明する文章を書くことができる。	・提出したワークシートを確認する。
		「英語理解の能力」			
		・ピクトグラムについての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、ピクトグラムに関するイメージとその内容を理解する。	・ピクトグラムについての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・五文型を理解する。 ・動名詞を理解する。 ・助動詞を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・五文型の使い方を理解している。 ・動名詞の使い方を理解する。 ・助動詞の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson2 (5 時間)	宇宙について、そしてその宇宙を旅した一人の宇宙飛行士若田光一について述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）
		「英語表現の能力」			
		・本レッスンで習う現在完了を用いて、宇宙と火星に関する文章を読み、それに関するエッセイを作成する。	・ワークシートを用いて、宇宙と火星に関する自分の意見を書く。	・宇宙と火星についての説明を読み、その内容について簡潔に説明する文章を書くことができる。	・提出したワークシートを確認する。
		「英語理解の能力」			
		・宇宙と宇宙飛行士についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、宇宙と宇宙飛行士である若田光一に関するイメージとその内容を理解する。	・宇宙と宇宙飛行士である若田光一についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了を理解する。 ・不定詞を理解する。 ・S＋V＋O（O は疑問詞節、if 節）を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了の使い方を理解している。 ・不定詞の使い方を理解する。 ・S＋V＋O の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson3 (5 時間)	ハワイ伝統のカヌーとその伝統航法について述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「古い伝統を守るべきか」に関するディベートで必ず 1 度発言する。また、相手の主張のポイントを理解する。	・ワークシートを用いて、「古い伝統を守るべきか」に関するディベートのためにグループで原稿を作成する。	・「古い伝統を守るべきか」に関するディベートについて、積極的に話し合ったり、意見の交換をしている。	・机間指導と実際のディベートを観察して評価する。
		「英語表現の能力」			
		・伝統文化についての説明を読み、その内容について簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、伝統文化を継承する意義について簡潔に自分の意見を書く。	・ワークシートを用いて、伝統文化を継承する意義について簡潔に自分の意見を書くことができる。	・提出したワークシートを確認する。
		「英語理解の能力」			
		・ハワイ伝統のカヌーとその伝統航法についての説明を読んで聞いて、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、ハワイ伝統のカヌーとその伝統航法に関するイメージとその内容を理解する。	・ハワイ伝統のカヌーとその伝統航法についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞を理解する。 ・分詞の形容詞的用法を理解する。 ・S is C(C は that 節)を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の使い方を理解している。 ・分詞の形容詞的用法の使い方を理解する。 ・S is C(C は that 節)の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson4 (5 時間)	生まれつき盲目であるピアニストの辻井伸行について述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）
		「英語表現の能力」			
		・生まれつき盲目であるピアニストの辻井伸行に関する説明を読み聞きし、口頭でその内容について簡潔に説明する。	・ワークシートを用いて、本文を読む際に要点を自分なりに整理し、簡潔に自分の意見を話す。	・ワークシートを用いて、本文を読む際に要点を自分なりに整理し、簡潔に自分の意見を話すことができる。	・提出したワークシートを確認する。
		「英語理解の能力」			
		・辻井伸行が生まれてからコンクールで優勝し、その後 3.11 に際しての支援活動をするまでの過程を、正しく読み取る。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、辻井伸行とその経歴に関するイメージとその内容を理解する。	・辻井伸行が生まれてからコンクールで優勝し、その後 3.11 に際しての支援活動をするまでの過程を、正しく読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞 what を理解する。 ・過去完了を理解する。 ・S＋V＋O＋C（C：原形不定詞、V：知覚動詞、使役動詞）を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞 what の使い方を理解する。 ・過去完了の使い方を理解する。 ・S＋V＋O＋C（C：原形不定詞、V：知覚動詞、使役動詞）の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson5 (5 時間)	「食品ロス」という社会問題に取り組むマクジルトン氏について述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「食品ロス」を世界からなくすために自分たちができる方法は何か、またその効果はどれほどかに関するディスカッションで積極的に話す。	・ワークシートを用いて、「食品ロス」を防ぐための方法を簡潔な英語でまとめる。	・「食品ロス」を世界からなくすために自分たちができる方法は何か、またその効果はどれほどかに関するディスカッションで積極的に話すことができている。	・机間指導と実際のディスカッションを観察して評価する。
		「英語表現の能力」			
		・「食品ロス」という社会問題とその問題解決に取り組むマクジルトン氏についての説明を読み、その内容について簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、「食品ロス」という社会問題とその問題解決に取り組むマクジルトン氏について簡潔に自分の意見を書く。	・ワークシートを用いて、「食品ロス」という社会問題とその問題解決に取り組むマクジルトン氏について簡潔に自分の意見を書くことができる。	・提出したワークシートを確認する。
		「英語理解の能力」			
		・Food Bank についての説明を読み聞きし、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、Food Bank に関するイメージとその内容を理解する。	・Food Bank についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係副詞を理解する。 ・S＋V＋O＋C（C は分詞）を理解する。 ・S＋V＋C（C は分詞）を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係副詞の使い方を理解する。 ・S＋V＋O＋C（C は分詞）の使い方を理解する。 ・S＋V＋C（C は分詞）の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson6 (5 時間)	霊長類学者グドールの生い立ち、チンパンジー、環境保護活動への想いなどについて述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）
		「英語表現の能力」			
		・絶滅危惧種の保護が必要かどうかについて、本文内容を参考に、簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、絶滅危惧種の保護が必要かどうかについて簡潔に自分の意見を書く。	・ワークシートを用いて、絶滅危惧種の保護が必要かどうかについて簡潔に自分の意見を書く。	・提出したワークシートを確認する。
		「英語理解の能力」			
		・グドール博士の考える環境保護活動についての説明を読み聞きし、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、グドール博士の考える環境保護活動に関するイメージとその内容を理解する。	・グドール博士の考える環境保護活動についての説明を読み聞きし、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞構文を理解する。 ・形式主語を理解する。 ・同格を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞構文の使い方を理解する。 ・形式主語の使い方を理解する。 ・同格の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson7 (5 時間)	坂茂について述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・仮設住宅の必要条件について、自分の意見をワークシートにまとめ、それを用いて簡潔に話す。	・ワークシートを用いて、仮設住宅の必要条件について、自分の意見をまとめる。そして、それを用いてグループ内で自分の意見を簡潔に説明する。	・仮設住宅の必要条件に付いて、自分の意見を簡潔に話そうとしている。また、他者の意見を聞き、理解しようとしている。	・机間指導と実際のグループ活動を観察して評価する。
		「英語表現の能力」			
		・坂茂がこれまでおこなってきた被災地支援の歴史についての説明を読み、その内容について簡潔にまとめ、話す。	・ワークシートを用いて、坂茂がこれまでおこなってきた被災地支援の歴史についての説明を読み、その内容を簡潔にまとめる。また、そのワークシートを用いてグループで意見交換を行う。	・ワークシートを用いて、坂茂がこれまでおこなってきた被災地支援の歴史についての説明を読み、その内容を簡潔にまとめることができる。また、そのワークシートを用いてグループで意見交換を行うことができる。	・提出したワークシートを確認する。また、グループ活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・坂茂が被災地支援をする理由についての説明を読み聞きし、それに関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、坂茂が被災地支援をする理由に関する内容を理解する。	・坂茂が被災地支援をする理由についての説明を読み聞きし、それに関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・seem to / it seems that を理解する。 ・受動態の完了形を理解する。 ・形式目的語 it を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・seem to / it seems that の使い方を理解する。 ・受動態の完了形の使い方を理解する。 ・形式目的語 it の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson8 (5 時間)	写真が伝える 20 世紀の戦争について述べた内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）
		「英語表現の能力」			
		・戦争の悲惨さや平和の重要性について理解し、その内容についての簡潔な要約文を書く。	・ワークシートを用いて、戦争の悲惨さや平和の重要性について書かれた本文の簡潔な要約文を書く。	・ワークシートを用いて、戦争の悲惨さや平和の重要性について書かれた本文の簡潔な要約文を書くことができる。	・提出したワークシートを確認する。
		「英語理解の能力」			
		・写真と英文が伝える戦争の悲惨さや平和の重要性についての説明を読み聞きし、それに関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、戦争の悲惨さや平和の重要性に関する内容を理解する。	・写真と英文が伝える戦争の悲惨さや平和の重要性についての説明を読み聞きし、それに関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去を理解する。 ・S＋V＋O1＋O2（O2 は疑問詞節）を理解する。 ・付帯状況の with を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法過去の使い方を理解する。 ・S＋V＋O1＋O2（O2 は疑問詞節）の使い方を理解する。 ・付帯状況の with の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson9 (5 時間)	ロボット工学の教授である石黒浩と、石黒が作成したアンドロイドから、ロボットと人間の関わり合いについて述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）	（本単元では設定しない）
		「英語表現の能力」			
		・本文内容を参考にして、自分の生活にロボットが関与することをどう思うかについて、明確な理由とともに話す。	・ワークシートを用いて、自分の生活にロボットが関与することに関する意見を書く。	・ワークシートを用いて、自分の生活にロボットが関与することに関する意見を書くことができる。	・提出したワークシートを確認する。
		「英語理解の能力」			
		・石黒浩がアンドロイド研究をする理由についての説明を読み聞きし、それに関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、石黒浩がアンドロイド研究をする理由に関する内容を理解する。	・石黒浩がアンドロイド研究をする理由についての説明を読み聞きし、それに関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・部分否定を理解する。 ・used to/would を理解する。 ・過去分詞〈助動詞＋受け身〉を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・部分否定の使い方を理解する。 ・used to/would の使い方を理解する。 ・過去分詞〈助動詞＋受け身〉の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson10 (5 時間)	「ピーナッツ」の著者であるチャールズ・M・シュルツについて述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「人生における成功」とはなにか、についてグループで話し合う。	・ワークシートを用いて、「人生における成功」とはなにか、について簡潔に英語でまとめ、それを用いてグループで話し合う。	・「人生における成功」に関するグループ活動で、積極的に自分の意見を伝え、また他者の意見を聞こうとする。	・机間指導と実際のグループ活動を観察して評価する。
		「英語表現の能力」			
		・チャールズにとっての「人生の成功」についての説明を読み、その内容について簡潔にまとめ、自分の意見と比較したうえで話す。	・ワークシートを用いて、本文で学んだチャールズの「人生の成功」に対する考えと、自分が持つ「人生の成功」に対する考え方をまとめ、比較したうえでグループ内でそれを発表する。	・ワークシートを用いて、本文で学んだチャールズの「人生の成功」に対する考えと、自分が持つ「人生の成功」に対する考え方をまとめ、比較したうえでグループ内でそれを発表することができる。	・提出したワークシートを確認する。また、グループ活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・「ピーナッツ」の世界的人気の理由についての説明を読み聞きし、それに関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、「ピーナッツ」の世界的人気の理由に関する内容を理解する。	・「ピーナッツ」の世界的人気の理由についての説明を読み聞きし、それに関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去完了を理解する。 ・no＋matter＋疑問詞を理解する。 ・be to 不定詞を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法過去完了の使い方を理解する。 ・no＋matter＋疑問詞の使い方を理解する。 ・be to 不定詞の使い方を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているのかを判断する。